

市政懇談会(石根公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月19日(火)19:30~20:54

参加者：94名(市民 73名、職員 21名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	<p>①妙口原地区の山崎墓地では、有志を募って清掃をしているが、高齢化等の理由で、参加者が年々減少している。市の方で管理をしていただくことはできないか。</p> <p>②選挙の投票啓発を防災行政無線で、市から一括して放送すると自治会長へ連絡があった。しかし、放送が聞こえなかったため、問合せをすると、集会所の放送設備は使用しなかったと、回答があった。そうであれば、何らかの連絡があってもよかつたのではないか。</p> <p>③職員と電話で話している中で、接遇の悪さを感じた。職員の接遇について、どのように指導しているのか。</p>	<p>【小松総合支所市民福祉課長】 ①山崎墓地は妙口地区にある共同墓地で、集落内の方が専属的に利用してきた経緯や利用料も徴収されていないこともあるので、まずは、地元の管理団体などで話し合いをしていただき、対応を検討していただきたいと思ひます。</p> <p>【危機管理課長】 ②防災行政無線は、4月1日から運用を開始しました。今回、選挙の投票啓発を市の方から、一斉に放送すると連絡をしていましたが、6月23日にJアラート放送を流した際に、防災行政無線と集落の放送設備が近い場所では、放送が共鳴するなど聞き取りにくいとの事例があり、結果、選挙の啓発放送については、防災行政無線だけで放送しました。皆様方には、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。只今、一斉放送がスムーズに聞こえるように改修しており、石根地区についても、近日中にテストをする予定となっているので、ご協力よろしくお願ひします。</p> <p>【市長】 ②今年の4月1日から公民館等にある公共施設に加えて、集会所からも一斉放送ができるようになりました。場所によっては、共鳴して聞き取りにくいとのご批判をいただいております。適正な放送ができるように、順次テストをしているところですので、ご協力をお願いします。</p> <p>③職員の接遇については、資質や指導力不足もあるので、ご意見を教訓にして、しっかり指導していきます。</p>	<p>【①について】 ・地元で管理をしていくにあたり、『墓地管理委員会』の様な組織を作り、管理規約を定めるなどし、地域利用者に周知していくなど、全市へ依頼したいと思ひます。</p> <p>【②について】 ・一斉放送のテストについては、8月9日に行う予定です。</p> <p>【③について】 ・全職員に対し、庁内LANで文書を発出し、職員の接遇対応について、周知徹底を行いました。(7月20日) 接遇対応全般について、一層の指導を徹底するとともに、職員研修等を通じ指導していきたいと思ひます。</p>	<p>・生活環境部 ・市民安全部 ・総務部</p>
2	<p>・小松農村環境改善センターは、災害時の指定緊急避難場所になっているが、耐震改修がされていないと聞いた。改修計画がどのようになっているのか教えてほしい。いつ起こるかわからない災害等に備えて、対応してもらいたい。</p>	<p>【施設管理課長】 ・小松農村環境改善センターは、旧耐震の施設です。市有施設の耐震改修については、耐震改修促進法により、特に耐震改修に取り組むべき建物、災害時の応急・復旧拠点の建物、避難行動要支援者や被災者を受け入れる施設を中心に取り組んでいるところです。庁舎、学校、体育館等の耐震改修が完了し、今年度は、3館の公民館を予定しています。今後予定している公民館の耐震改修と併せて取り組んでいきたいと思ひます。</p>	<p>—</p>	<p>・施設管理部</p>
3	<p>①市道大久保線だが、大雨や台風の後には石などが道路に落ちて車のタイヤがパンクしたりする。また路側が抉られている箇所があるので、一度現地を確認してほしい。</p> <p>②石根ふれあい公園の時計が約2年くらい前から止まった状態になっている。指定緊急避難場所でもあり、市の対応状況を知りたい。</p>	<p>【小松総合支所建設管理課長】 ①本日、道路パトロールを行った際に、ご質問の現場での状況を確認しているため、近日中に対応したいと思ひます。 ②石根ふれあい公園の時計は、平成25年に管理棟の横に設置しましたが、現場に無いことは確認しているため、早めに対応したいと思ひます。</p>	<p>【①について】 ・天福寺東から約700m区間につきましては、7月29日までに清掃作業を完了する予定です。 ・残りの市道部については、順次手直しを行う予定です。</p> <p>【②について】 ・石根ふれあい公園の時計につきましては、既存時計の支柱を流用して、時計2面及び太陽光パネルの修繕準備を行っており、9月末までに完了する予定です。</p>	<p>・小松総合支所</p>

市政懇談会(石根公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月19日(火)19:30~20:54

参加者：94名(市民 73名、職員 21名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
4	①湯浪から横峰の登山道が日本の文化遺産に指定され、西条市としてはどのように情報発信していくのか。また、横峰から香園寺の遍路道も併せて情報発信してほしい。 ②今宮道、河口から石鎚山の成就社への登山道は、遍路道に負けない大切な道だと思うので、西条市として全国に向けての情報発信や整備をしてほしい。そして石鎚山を盛り上げる努力もしてほしい。	【市長】 ①文化遺産の指定を受けたことで、注目度が上がっています。地元としてしっかり整備していくことを望んでいることはわかりました。広く情報発信をしていきたいと思っております。 【農林水産部長】 ②今宮道は、観光のルートであり、石鎚山へのルートでもあると思っております。ご要望の件は、産業経済部へ伝えます。	【①について】 ・伊予遍路道である横峰寺道が、国史跡指定を受けたことは、本市にある四国遍路5か寺の情報発信の好機であると捉えております。指定を機に、湯浪に設置されているトイレの改修について愛媛県と協議をしており、遍路に訪れた方に、快適な遍路旅をしてもらえるよう、取り組んでいくとともに、本市の遍路道の情報発信にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。 【②について】 ・今年、制定された「山の日」の8月11日には、石鎚山系の情報発信として、土小屋から成就までの縦走登山と、西之川から成就を通り、今宮へ降りる登山ルートを使った市民登山教室を開催することとしております。併せて、西条郵便局が頂上山頂で、西日本一高い山の臨時郵便局を開設するなど、全国に石鎚を情報発信していく予定です。	・農林水産部 ・産業経済部
5	・大郷から湯浪までの車道外側線が、ほとんど消えている。夜間、歩き遍路をされている方は、街灯がない道を外側線を頼りに歩いている。そういう方のためにも、早く外側線を引いてほしい。また、通学路でもあり、早急な対応を願うとともに、強く県へ要望をしてほしい。	【建設部技監】 ・県道の外側線やセンターラインの件ですが、平成28年4月に自治会長より連絡を受け、小松総合支所建設管理課より県へ要望しました。先日、県より高速下附近から香積橋までの約700メートル間のセンターラインを、8月末までに実施するとの連絡がありました。市としては、外側線についても、早期に実現するように、県へ申し入れをする予定です。	・引き続き、東予地方局へ要望して参ります。	・小松総合支所
6	・石根小学校の屋外トイレは、男女共用であり外から中も見えるので、プライバシー的にも問題がある。また、和式トイレであるため高齢者等の利用が困難なので、対策を講じてほしい。	【教育長】 ・市内では、対応が必要な学校が多くあることから、順次対応していくこととしています。石根小学校については、平成29年度に実施設計、平成30年度に事業実施となっているので、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。 【市長】 ・学校数も多いため、計画的に実施する予定です。しかし、災害時のこともあるので順次、早めに対応していきたいと思っております。	—	・教育委員会管理部
7	・障がい者事業所ピースで作っている石鎚黒茶に関して、一つ提案がある。小松町内、多くの歩き遍路の方を見かけるが、その方々の中には、強い情報発信力をもって歩き遍路をしている方もいる。行政の支援の下、お接待所を作り、石鎚黒茶でおもてなしをすることで、障がい者事業所ピースの方も活躍でき、また石鎚黒茶についての情報発信もできるのではないかと。	【市長】 ・日本に自生する自然茶の中でも、石鎚黒茶は貴重なお茶です。愛媛大学農学部の教授によると、石鎚黒茶には花粉症に効果のある成分を含んでいるとのことなので、その効果を生かし、実用化に向けて内外に情報発信する手段として、お遍路さんへ提供することは大事なことだと思っております。インバウンド観光で台湾などから観光に来る方たちが石鎚山へ来て、そこから情報発信をしてもらえるようにしてほしいと思っております。また、各所に無料Wi-Fiを設けて接続しやすいようにしていますが、増設するなど更に環境を整えていきたいと思っております。	・石鎚黒茶については、現在、愛媛県とともに品質の確保や生産の安定性などについて、研究を行っております。本市を代表する観光資源である石鎚山に関するブランド製品として、情報発信の手法についても検討したいと思っております。	・産業経済部

市政懇談会(石根公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月19日(火)19:30~20:54

参加者：94名(市民 73名、職員 21名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
8	<p>・以前、瓶ヶ森林道を、山岳高地トレーニングの場として活用したいが、それには付属施設が必要になるという話があった。また、瓶ヶ森ヒュッテを少年自然の家に代わる施設にもしたいという話があったかと思うが、その後、進行状況はどうなっているのか。</p>	<p>【市長】 ・材料をヘリコプターで上げて工費がいくらかかるとか、完了をどうするとか、そういう検討をした経緯がありますが、わかる職員が来ていないので、また追ってお知らせします。検討はしており、決して否定しているということではないので、ご理解いただきたいと思えます。</p>	<p>・西条市では、運動施設の有効活用と海、川、山など地域資源の活用により西条市の魅力を全国に発信する振興施策として、平成20年に「合宿都市構想」を立ち上げ、その中で、高地環境を活用した高地トレーニングメニューを構築しようとしていました。 同時期に、瓶ヶ森ヒュッテ所有者から、高齢のため管理が困難であるので、西条市への所管替えの依頼を受けていたことから、平成21年、ヒュッテの所有を西条市に移すとともに、トレーニング施設としての活用等を検討してきました。 トレーニング施設として活用するには、土やウッドチップなどを敷いたグラウンドが最低限必要となりますが、ヒュッテ周辺にはランニングができるスペースがなく、車で20分程度離れた他の施設や駐車場の購入によるグラウンド改修など、周辺一帯の開発が必要となり、莫大な費用がかかります。また、事故・病気などの場合、搬送に時間がかかりすぎるという難点もありました。 これら費用対効果や緊急時の安全面などを考慮すると、トレーニング施設として整備することは極めて困難であると考えますが、瓶ヶ森は多くの人々の心の安らぎの場であり、西条市民共通の財産でもあります。 現在は、この貴重な財産を観光資源として更に活用するため、ヒュッテをどのような形で整備していくか、山岳関係者や愛媛森林管理署等を交えて協議しています。トレーニング施設として周辺一帯を整備するよりは費用は抑えられますが、高地という地理上、ヘリコプターでの資材搬送などの可能性もあり、いずれにせよ高額な費用が見込まれるため、財源を含め、最大の効果が発揮できるよう、検討を行っております。</p>	<p>・企画情報部</p>
9	<p>・不審者情報を各学校から保護者に送るシステムがあるが、6月に発生した事案は連絡があったが、7月に発生した事案は連絡がなかった。今後は、警察、教育委員会、行政と連携して、瞬時に情報が保護者に届くような形をとっていただきたい。</p>	<p>【教育長】 ・不審者情報は、教育委員会が把握した段階で、すぐに、全小・中学校、その他機関に情報を送っています。また、警察の方へ被害者から連絡があった場合も教育委員会へ連絡が入る体制をとっています。不審者情報の連絡メールが、すべて保護者に届くということは難しいので、そこは、地域の方にも協力をしていただき、まもるくんの家などを活用しながら、地域で子どもの安全を守っていききたいと思えます。</p>	<p>・不審者情報については、目撃した児童生徒の保護者や学校から警察に通報済みの全ての案件を、各学校や関係機関等に迅速に連絡できるよう努めています。また、西条市PTA不審者情報等メール配信システムに登録している場合は、直接配信されることとなっております。 ご指摘の案件がどの事案に当たるのかは不明ですが、市内の子ども達や保護者の皆様が安心して生活できるよう、警察をはじめ関係機関との連携を強化して情報収集しながら、今後も迅速かつ正確な不審者情報の配信ができるよう努力してまいります。</p>	<p>・教育委員会指導部</p>